

神奈川県立保土ヶ谷養護学校学校運営協議会 開催結果

本校の学校運営協議会を下記のとおり開催した。

審議会等名称	令和4年度 第1回 ほどう協議会		
開催日時	令和4年6月2日(木)		
開催場所	共同学習室		
出席者	令和4年度保土ヶ谷養護学校 学校運営協議会委員 10名(本校校長を含む) 令和4年度保土ヶ谷養護学校 学校運営協議会事務局教職員 8名		
次回開催予定日	令和4年9月第5週(26日～)の予定		
問合せ先	神奈川県立保土ヶ谷養護学校 副校長 川島 結子 電話 045-714-0126 Fax 045-742-9716		
下欄に掲載するもの	議事録	議事概要とした理由	
審議(会議)経過			
<p>1. 会長挨拶</p> <p>前任の委員への謝意と今年度の委員の方に向け、「保土ヶ谷養護学校をより良くするために今年度の協議会をお願いしたい」との挨拶</p> <p>2. 学校長挨拶</p> <p>本校の概要説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒の増加。県内特別支援学校高等部の入学希望者も増加傾向にある。 ・コロナウイルス感染症における対応がまだまだ必要。時差登校、修学旅行の延期・目的地の変更(県内へ)等一つひとつ必要なことをやっていながら学びの継続に努めている。そのために、地域の皆様の協力をいただきながら進めていきたい。 <p>3. 出席者および会成立の確認</p> <p>本校校長を含め、10人の委員の出席により、本会が成立したことを確認。</p> <p>4. 資料確認・本日の流れの確認</p> <p>5. 議題(報告・説明)</p> <p>①令和3年度施設等整備実績報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予算について、令和4年度児童・生徒増、教員増により予算増 ・令和3年度実施の主な工事内容について説明 ・令和4年度実施の工事予定について説明 <p>②令和4年度学校運営協議会運営計画</p> <p>○「学校評価部会」活動計画</p> <p>年間予定を説明。今後の日程詳細については、調整でき次第委員の方に連絡する。</p>			

○「切れ目ない支援部会」活動計画

昨年度、コロナ禍を踏まえた上で交流が実施できた。今年度の課題として、より主体的に双方
向での交流を進めることが重要。

○「農園活用部会」活動計画

保土ヶ谷区資源循環局啓発チームの協力をいただきながら、野菜作りと遊び場づくりの2本
立てとしていく。

③令和4年度学校目標

○校長より

令和2年～令和5年の4年スパンの今年度は3年目にあたり、4年間の流れとその中にある
今年度の位置づけ説明。また、今年度の具体的な目標について説明。

○各学部より

『小学部』 概要説明(体育の教科指導内容表、防災教育、交流学習、人権の取り組みについ
て説明)

『中学部』 アセスメント項目を中心に説明

『高等部』 地域交流の新しい取り組みについて説明

『舞岡分教室』 学びの連続性を担保した教科内容表の取り組み、研究と関連付けた防災教
育、舞岡高校との交流をより深めることによるインクルーシブ教育の推進、挨拶運
動を継続し、さらに友達や舞岡高校の職員にもできるような広がりを持って人権
教育を推進していく。

『横浜平沼分教室』 年間計画の見通し、生徒の実態の変化に伴いアセスメントを充実させ、
より実態に沿った教育活動の推進を図る。

○各グループより

『教育企画』 教科内容表の充実は体育中心から、他教科への広がりを図っていく。人権教育
はグループとして今年度から新たな取り組みとなるため、適切に取り組む。個人
情報を適切に管理し処理していく。

『管理運営』 避難訓練等の実践を踏まえ、マニュアルの見直しを進めていくこと、スクールバ
スは安全な運行のための情報共有を図っていく。

『教育支援』 摂食のアセスメントシートの活用、研究研修班によるアセスメントの理解の深
化、本校の教育活動等をホームページにて発信する取り組み、校務の効率化は、
毎月の課題の吸い上げより適宜改善していく。

『連携支援』 専門職との連携によりアセスメントの理解と活用を深める。進路について教員
との共有と保護者への理解を促す。学校全体でセンター的機能を果たしていく。

6. 協議

A 委員)昨年度はコロナにより交流がオンラインでの実施となったが、今年度は「触れる」というこ
とを目標に対面で実施したい。

B 委員)いろいろな生徒がいる中で、特別支援学校のアセスメントについては期待するところがあ
る。

C 委員)農園活用部会について、地域の人材を紹介した。その後はどのように関わっていたかなど

気になるところ。

D 委員)遊び場作りの滑り台の設置というのは、公園にあるような滑り台なのか。

→斜面にブルーシートを設置して行ったもの

D 委員)保護者向けに簡単な活動報告はあったが、実際の場面(どんな斜面、どのくらいの速さなのか)、安全面での発信がもっとあると保護者も安心するのではないか。

E 委員)農園では、実際にどのようなものができたか、写真等で成果を見せてもらえると良いのではないか。

→昨年度は大根がよくでき、厨房にも提供し給食に使った。今年度は作物のカレンダー等を作りながら生徒にも示している。

F 委員)時間がない中だが、次回、そういうものを含め具体的に分かるように示してほしい。

C 委員)農園でできたものが買えるようになるのが理想。

→実際に販売は難しいが、地域の方に届けられれば良い。

G 委員)法人としても4年間のまとめりで考える。地域の方との協働により大きなことができる。

SDGsの一つとして、規格外の花を回収して、地域の方に配ったことがあり喜んでもらった。何かを作るということだけでなく、困っていることを持ってきて運用することで、楽にできる部分があるのではないか。

F 委員)小学部が取り上げている不適切な指導の防止について、現状の実態と背景はどうなっているか。それに対してどのように取り組んでいくか。

→実際に不適切な指導があるというわけではない。

F 委員)難しい子どもへの対応に対して強い指導ではなく、適切な指導を行ってほしい。

H 委員)「資料8 4年間の目標と主な方策(案)」について説明を

→3年目の下線部は今年度の目標作成にあたり、令和2年度に示した計画より変更した内容であることを示している。

H 委員)分かりやすく提示できているので良い。マトリクス上、校務グループの役割が特に大きい項目5(業務の効率化)はもっと学校目標と関連付けられるように表記した方が良いのではないか。

F 委員)「資料11 令和4年度学校評価 学部・グループ目標」と「資料9 令和4年度学校目標」がより関連づいたものになると良い。

～本会において、各内容が承認された～